

第1回 北海道サイクルルート連携協議会アドバイザー会議 議事概要

1. 日時 令和2年1月23日(木) 15:00~17:00

2. 議事

- (1) ルート協議会申請状況について
- (2) ルート協議会実施計画概要について
- (3) 連携協議会の取組について

3. 議事概要

アドバイザー会議の会長として高橋清委員を選出し承認を得た。

(1) ルート協議会申請状況について

過去2年間の試行において、モデルルートとして検討してきた既存の5ルートのうち、「きた北海道ルート」「阿寒・摩周・釧路湿原ルート」「トカプチ400」「富良野美瑛サイクリングルート」の4ルートが、今回の取組についても申請されている状況。

それらに加え、新しく「オホーツクサイクリングルート」「石狩北部・増毛サイクルルート」「羊蹄ニセコエリアサイクルルート」の3ルートが申請されており、現時点で計7ルートが申請されている状況。

なお、既存ルートの「石狩川流域圏ルート」については、今後の申請に向けて現在調整中と伺っている。

(2) ルート協議会実施計画概要について

各ルートの代表者よりルートの概要について説明。

各ルートの概要説明に対し、委員より助言をいただいた主な項目は以下の通り。

1) 富良野美瑛サイクリングルート

- ・年齢、性別、経験を問わず容易に利用のできるe-bikeのレンタサイクルへの活用
- ・河川敷や青い池を資源として活用できる美瑛川沿いのルート「美瑛川・青い池サイクリングルート」組入れの検討
- ・食や観光の面で相乗効果の期待の出来るJA等の関係機関との連携

2) 石狩北部・増毛サイクルルート

- ・北海道のゲートウェイである札幌からの案内・集客
- ・サイクリストのレベルに応じた札幌からの日帰りルートなど多様な楽しみ方の提案
- ・人家の少なくなる北部エリアでのサイクリストに対するサポート体制の充実

3) 阿寒・摩周・釧路湿原ルート

- ・丹頂鶴に遭遇し、釧路湿原の風景を楽しめる大規模自転車道「釧路阿寒自転車道線」等の活用

- ・ 美幌峠や展望台へのライドを容易にする e-bike のレンタサイクルへの活用
 - ・ JR や駅などのゲートウェイを結ぶルート整備
- 4) 羊蹄ニセコエリアサイクルルート
- ・ 除雪ステーションのサイクルステーションとしての活用（夏期）の全道展開
 - ・ 近隣ルートや交通事業者等と連携した「行きやすさ」の提案
 - ・ サイクリストのレベルに合わせたルート設定およびその表示
- 5) オホーツクサイクリングルート
- ・ オホーツク海やサロマ湖等の景観を楽しめる鉄道廃線跡（勇網線）大規模自転車道「釧網走常呂自転車道線」の活用
 - ・ 勇網線旧駅舎等の観光資源を取り入れたルートの効果的な情報発信
 - ・ 世界遺産知床との連携
- 6) きた北海道ルート
- ・ 例えば一日の行程が組めるような「一本道で長大なこのルート」の楽しみ方の提案
 - ・ 最北端である宗谷岬と南の岬（襟裳岬）を結ぶなど物語性のあるルートやオロロン、白い道、宗谷丘陵、エサヌカ線、大規模草地など絶景を活かした地域ルートの提案
 - ・ こういった資源を楽しませるガイドの育成
- 7) トカプチ400
- ・ 十勝地域の魅力である「食」との連携、これを持続的にサービスするために必要なビジネスモデルとしての構築
 - ・ 近隣の他ルートとの接続・連携による魅力向上

（3）連携協議会の取組について

連携協議会から、走行環境の整備推進、休憩施設の拡充や公共交通機関との連携などの受入体制強化、来訪者数など道内のサイクル環境に関わる実態把握を目的とした調査の検討、等の今後の取組方針を説明。

—以上—